

氏家 祥夫さん(うじい
え・よしお、東京都委員
会) 11日死去。78歳。お別
れの会は14日午後5時30分
から、豊島区南池袋4の25
の2の南池袋斎場で。葬儀
は近親者で行います。後
日、偲(しの)ぶ会を予定
しています。喪主は長女、
武藤葉子さん。
64年入党。元東京都区職
員労働組合書記長。元東京
都庁職員労働組合執行委員
長。

お父さんへの手紙

お父さんの死を目の当たりにした時、何を感じたらいいのか正直、わかりませんでした。お父さんとお母さんが離婚しても私は会っていたから、受験の時や就職の時に上から目線で反してきたことがうとうとしい時もありましたが、今、残っているのは、幼い頃の記憶しかありません。

幼い頃は、お父さんっ子で、いつもお父さんのアグラの中にチョココンと座っていたようで、離婚を躊躇ったとお母さんは言っていたし、お兄ちゃんもお母さんと離婚するときは、葉子が一番泣いていたと言っていたから、よほど、お父さんのアグラが気に入っていたのだらうと思います。

そして、お料理が上手く作れるようになった時や車の運転が出来るようになったことを一つ一つ見てもらいたかった、普通に「今日は寒いね」とか「桜が咲いたよ」という日常の会話がしたかったな〜と、あの頃は感じていました。

「みてみて」と甘えて育つことを望んでいた私も、もう大人になりました。もう大丈夫です。

私は、ひとり親で育てられたけれども、学校の先生や友人、地域の方々、職場の先輩に恵まれ、親族にも大切にされ、結婚した後も幸せな人生を送っています。ただそれは、私の運が良かったということにしてしまうのではなくて、例え、恵まれない環境で育てられたとしても、私はその境遇に寄り添い、問題の解決をしたいと思いました。

間違いは誰にでもあります。それでも、前を向いて歩けるような社会にしていきたいと思ったことが、今、政治家としての道を選んだ理由になりました。

皮肉に感じてくれてもいいですよ。

失敗は成功の母というのなら、転んでも、ちゃんと起きて前向きに生きていける社会を作ります。そういった意味ではお父さんもより良い世の中を作ろうと最後まで努力したのではないのでしょうか。それは、今の私に活着ているから、安心して眠って下さいね。